

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 7 日作成)

小委員会名	農村居住小委員会	主 査 名：山崎寿一 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	1. これまでの農村計画委員会の研究活動の蓄積を活かし、国土形成・国土管理や都市と農村の共生の視点から、現代の多様な農村居住に焦点をあて、新たな農村計画の可能性を検討する。 2. 人口減少時代における農村の居住者動向と新たな居住現象の分析、農都共生型居住の可能性について公開研究会を実施し、共同研究の企画と新たな研究分野開拓の構想を検討する。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	山崎寿一(神戸大) 山崎義人(神戸大) 戸田敏行(東三河地域研究センター) 篠部裕(呉高専) 森川稔(滋賀県立大学) 他	
設置 WG (WG 名：目的)		
2007 年度予算	125,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. 研究協議会：いかに美しい国土(くに)をつくるか - 国土形成の戦略的課題と展望 参加者数 51 名 『農村計画部門研究協議会 / PD 資料：いかに美しい国土をつくるか - 国土形成の戦略的課題と展望 / 誰が守る九州の美しいむら』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2007 年度大会農村計画部門研究協議会「いかに美しい国土をつくるか - 国土形成の戦略的課題と展望」を実施した。 2. 研究協議会資料(134P)を編集し、発行できた。 3. 公開研究会「国土形成と地域・居住連携」を実施(2008 年 2 月) 4. 国土形成計画と農村居住をテーマとする雑誌特集への寄稿・編集(小委員会として企画、編集。発行は農村建築研究会)
委員会活動の問題点・課題	1. 委員が全国に広がるので一同に会して委員会を開催するのに旅費の制約があり苦労した。メールや主査、幹事会での対応が多くなった。 2. 公開研究会の建築雑誌への案内が間に合わず、任意の研究会として開催しかできなかった。日程が決まるのが遅かった。